

花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人／小笠原 誓 発行所／名古屋園芸株式会社
〒460-0005 名古屋市中区東様2-18-13 tel.052-931-8701
http://nagoyaengei.co.jp/

'25 1

名古屋園芸

花の講座
受講生募集中!!



早春を彩る花飾り



象形花卉帖

谷上廣南 画 大正12年 (1923)

当帖は縦39.0、横52.3cm の大画面、中心部で縦二つ折とした帖仕立て、木版多色刷り本である。著者の谷上広南は明治12年生まれ、昭和3年没 (1879～1928)。関西地区を中心に図案作家として活躍した。

＝花の講座のご案内＝

講座番号11『おひな様アレンジ』
2/26 (水) 13:30～14:30

おひな様飾りにふさわしい、春らしいアレンジメントを作ります。桃やチューリップなど春のお花をふんだんに使った可愛いアレンジメントです。

*材料費：4,400円 (税込)
*講習費：1,100円 (税込)
*講師：野崎 朋美



講座番号30『コンテナで育てるバラ栽培』
2/9 (日) 10:30～11:30

春の花つき抜群の地元・稲沢産超骨太なバラ苗使用！春に見事な花を楽しむための、管理方法や剪定など分かりやすく丁寧に説明します。

*材料費：3,850円 (税込)
*講習費：1,100円 (税込)
*講師：小笠原 誓



◇お申し込みは
花の講座専用電話 TEL: 052-937-3391
受付時間 月～金曜日 10:00～17:00
Webからもお申し込みできます！

名古屋園芸 検索

こちらからもどうぞ →



香りに癒される切花

香り高い切花で、心癒されるひとときを過ごしませんか。今月は、特に香りが魅力の「バラ」と「ユリ」にスポットを当ててご紹介します。

バラは、ダマスクやティー、ブルーなど多彩な香りを持つ花。その香りは強いほど日持ちが短くなる傾向がありますが、冬の乾燥した低温期はその影響が和らぎ、豊かな香りを長く楽しめます。自分好みのバラを見つけるのも楽しいひとときです。この季節ならではの贅沢なバラの香りをぜひお試しください。

一方、ユリは香りの強さと日持ちに影響が少なく、四季を通して楽しめるのが魅力です。なかでも八重咲きの「ローズリリー」は花粉が少なく、香りも柔らかで扱いやすいおすすめの品種です。華やかさとエレガントさを兼ね備えたユリは、飾る場所を選ばず、ギフトにもぴったりです。



フレグランスローズとシンビジウムのブーケ ¥5,500 (税込)

また、新春の訪れとともに早春の切花も市場に並び始めます。スイートピーやランキキュラスなどの季節の花々をプラスして、季節感あふれるアレンジメントやブーケはいかがでしょう。大切な方への贈り物としてもおすすめです。

この冬は、華やかで豊かな香りに包まれて、心温まるひとときを過ごしてみたいはいかがでしょうか。



ローズリリーとスイートピーのアレンジメント ¥5,500 (税込)

冬の庭を彩るクリスマスローズ

クリスマスローズは年末から2月頃まで次々と入荷します。いちばん寒い時期で外に出るのも億劫ですが、この時期を逃すと出会えない植物です。冬から春先まで長く花を楽しめ、春に出る新葉は、夏の木陰の庭でギボウシなどと葉色のコントラストを楽しめます。

真夏に日差しが強いところを避ければ、丈夫で育てやすい植物です。冬の開花株をご購入後、早めに根を広げて植え替えることをおすすめします。根の発根がよく生長が良いためです。根がよく張っているものは、広げてあげると水が全体にしっかり入りやすくなり、水切れ予防にもなります。

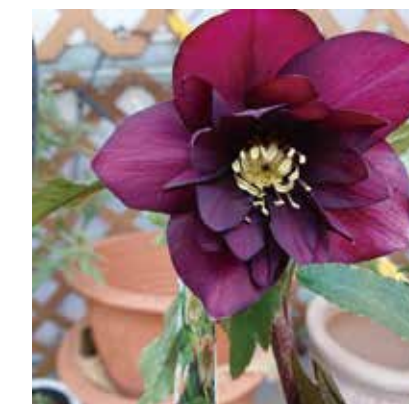
肥料は、11～4月頃まで与えます。この頃によく日に当たると花つきが多くなります。6～10月頃は肥料は与えず、残っていたら取り除きます。このころ肥料を与えると葉ばかりになります。2～3年に1度は、春か秋に植え替えます。花形・花色は無数にあり、一度ご覧になるとトリコになること間違いなしです。入荷情報はインスタグラムもチェックをお願いします。



横山園芸 プチドール



花郷園 シングル



花郷園 ダブル



杉光園芸 Freeda

information

* 完熟ローズの販売について *

毎年好評をいただいている完熟ローズは1月後半に販売開始予定です。ギリギリまで畑で養生した株を、名古屋園芸スタッフが特別に配合したバラ用の土を使って10号鉢に植え込みます。あとのお世話は水やりと追肥だけ！次の春からしっかりと花を楽しむことができますよ。

掘りあげと植え込みのタイミングで販売が2月に遅れることがあります。ご了承ください。本格的に全品種が揃うのは2月になります。春にはしっかりと咲いてくれる確実な株だけを厳選して販売します。楽しみにしてくださいね。

花かがみ2月号で品種などを詳しくご紹介します。



イングリッド・バーグマン

** 年末年始営業時間のお知らせ **

12月31日 10:00～18:00
1月1日～3日 10:00～16:00
1月4日より 10:00～19:00

花の博物館 第348回

福寿草七種 (仮)

関根雲停 画
一八〇四年 (文化元年)・一八七七年 (明治十年)
幕末から明治にかけての博物画家
小笠原 誓

今から45年ほど前になりますが、学生の時に鈴鹿山脈の藤原岳に登りました。藤原岳は作家・田中澄江が選定した随筆集『花の百名山』に選ばれており、東海地方屈指のフクジュソウやセツブンソウなどの群生地です。3月中旬だったと思いますが、8～9月合目付近の斜面の雪解けて地面が露出したところにフクジュソウが群生していました。夢中でカメラのシャッターをきった覚えがあります。

この資料は、品種名から推定すると嘉永頃のものと思われる。7品種の福寿草が描かれ、右から浅黄咲、撫子咲、紅権、段咲、雪白、本紅、千重、一名きく咲の品種名も書かれています。現在は絶えてしまった品種が多く、観ることはできません。が、当時の福寿草熱を感じる資料です。関根雲停は、幕末から明治の博物画家。幼少期から絵を好み、大岡雲峰に学び、花鳥図を得意としました。特に富山藩前田利保に賞賛され、花卉を多く描き、本草家にも重用されました。どのような意図で刷られたものかわかりませんが、画題からすると歳旦ものとして作られたものかもしれません。

